

放課後等デイサービスわたもこ
2022年～2023年 事業所自己評価

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	事業所より
体制整備・ 環境	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	○			人数や活動内容に応じて部屋を適宜分けて使用している
	②職員の配置は適切であるか	○			児童の特性を把握したうえで、必要な子には1対1で対応できるよう工夫してその日の計画を組んでいる
	③事業者の設備などについてバリアフリー化の配慮が適切であるか		○		もともとが民家で借家であるため、改修にも限界があるが、会談に最低限の手すりなどはついている
業務改善	④業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		前日の振り返りをする時間を設け、月に1回程度は支援の方向性について会議しているが、日程の都合上全員そろわないこともある
	⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		実施が初めてなので、どちらともいえない。来年以降業務改善につなげていきたい
	⑥の自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		実施が初めてなので、どちらともいえない。今回の結果は公表していく
	⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第3者評価はまだうけていない。今後検討していく。
	⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		なるべく行うようにはしているが、閑散期に臨時で行うことが多く、定期的なものにはなっていない。
	⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		保護者からのニーズをくみ取るように努力はしているが、事業所としての経験が浅く、客観的な妥当性がある内容が作成できているかはわからない。
	⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	アセスメントツールの導入、定期的な評価は早いうちに導入したい

適切な支援の提供	⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ト管理者や児発管のみの意見だけで内容を決めることはなく、直接支援にあたる職員が活動内容から立案していくという方針で行っている
	⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節の行事や各個人の経験を生かしたものなど工夫している。
	⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日には宿題学習、休日、長期休暇には食事など、その時々に合わせて課題を設定して取り組んでいる
	⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			下校時間や職員の配置状況に合わせて個別活動の時間を設けるようにしている。
	⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			意図や情報共有については意識的に取り組んでいる
	⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		次の出勤日に記録を記入したり、打ち合わせ時に振り返ったりしているが、十分な時間確保できているかは不明
関係機関や保護者との	⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		医療介護の現場で用いられるSOAPによる記録のように、事業所として標準的な記録方法が確立できていないが、詳細に記録をとるようには心がけている
	⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			月に1度の支援会議の時などにモニタリングをし、共有している。
	⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○		ガイドラインを意識して活動を設定してはいるが、おおよそ基本活動を組み合わせることはできている。
	⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者か児発管が基本的には参加している。
	㉑学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		学校側との連絡 情報をこまやかにキャッチし、都度 職員間で共有しているが、まだ付き合いが浅く連携が取れていない学校もある。
	㉒医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		子どもがかかっている医療機関からの情報は保護者から聞いている。

連携関係機関や保護者との連携	⑳就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		事業所として1年目などで園との連携はこれからである。
	㉑学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		まだ該当する者がいない。
	㉒児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	近隣市町にセンターはない。遠方でもなるべく研修に参加できる体制を構築していきたい。
	㉓放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	公園にいった時に、いれば一緒に遊んで交流することはあるが、計画しての交流はない。
	㉔（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会の児童部会に参加している
	㉕日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			SNS、送迎時などで子供の様子をつたえたり、気になっていることを聞いたりして共通した理解がもてるように努力している
	㉖保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	今後検討していきたい
保護者への説明責任な	㉗運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に必ずおこなっている
	㉘保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			SNSや電話で相談を受けたり、受診時の資料を作ったりできる限りのことは行っている
	㉙父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者参加のイベントをおこなったが、保護者間の連携を作るところは今後の課題と認識している
	㉚子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付の体制は整備し、何かあれば意見が集まってくるような関係づくりを意識して行っている
	㉛定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			イベントごとのあとはLINEで様子を発信するようにしている

ど	③⑤個人情報に十分注意しているか	○		同意を取ったうえで適切に利用している
	③⑥障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		マカトンサインなども利用している
	③⑦事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	地域住民も参加できるイベントを現時点で出来ていない
非常時の対応	③⑧緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	マニュアルは策定しているが周知はできていない。生きたマニュアルになるよう研修機会を確保し、周知していきたい。
	③⑨非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に一時避難場所への避難訓練を行っている
	④⑩虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法に基づき入職時と年1回研修を行っている
	④⑪どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載しているか		○	契約時に身体拘束をすることが想定される状況について説明し、同意を取っているが計画書に記載まではしていない。
	④⑫食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	医師の指示書が必要なレベルの食物アレルギーの子がいない。契約時に聞き取りはしている。
	④⑬ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○ 最初は事例集がなくても状況が把握できたが、職員数が増えているため、事例集を作成していきたい